

## あらゆる創薬ターゲットタンパク質をお手元に

遠藤彌重太 愛媛大学名誉教授が開発した「コムギ胚芽無細胞タンパク質合成技術」の事業化、応用技術の開発並びにそれら技術の普及を目的に2002年に設立された愛媛大学発ベンチャーです。

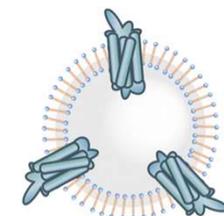


遠藤彌重太  
愛媛大学特別名誉教授

真核生物のコムギから開発した無細胞タンパク質合成法は、従来のタンパク質合成手法である原核生物由来のE.Coli (細胞培養) を用いる方法と比べ、ヒト由来のタンパク質を短時間で、高い確率で合成可能にしました。株式会社セルフリーサイエンスは、本方法を用いてヒトの全タンパク質の約80%以上をカバーする約20,000種類のヒトタンパク質を合成し、Protein Active Array (PAA)を開発、事業展開をしています。また、合成時に、様々な添加物を加えることができる長所を有し、とりわけ創薬の重要なターゲットとなっているGPCR等の膜タンパク質を人工脂質膜 (リポソーム、NanoDisc等) を加えて合成(プロテオリポソーム等) することで、活性を有する膜タンパク質の合成が実現し、高品質の抗膜タンパク質抗体を作製するための抗原作りを可能にしました。

また、これまで国内外の大学、大手製薬会社をはじめとする企業や研究機関とお取引があり、創薬スクリーニングやワクチン候補探索等にご活用いただいたり、様々なプロジェクトでスクリーニング手法等の共同開発に参加しています。

今後も、株式会社セルフリーサイエンスは、様々な国の大学や製薬会社をはじめとするや診断薬メーカーあるいは農薬メーカー等の企業やその研究者の皆様と連携していきたいと考えています。



プロテオリポソーム



**合成試薬事業**  
コムギ胚芽抽出液 WEPRO®  
翻訳試薬 SUB-AMIX®



コムギ胚芽抽出液

**合成装置事業**  
Protomist® DTII  
Protomist® XE



**受託・創薬支援事業**  
タンパク質生産  
タンパク質受託合成  
疾患タンパク質の同定技術  
薬剤スクリーニング技術  
Protein Active Array(PAA)



【代表者】代表取締役社長 尾澤 哲 【設 立】2002年7月

【資本金】9,500万円

【住 所】〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-6横浜バイオ産業センター

【連絡窓口】 担当者：営業部営業統括部長 横本 敬紀

Tel: 045-345-2625 Fax: 045-345-2626

URL : <http://www.cfsciences.com/>